



## 震災復興の感謝の気持ちをこめて

能登未来の観光地づくり ～松の植林キャンペーン～

能登の未来の観光地づくりを目指し、近年減少している松林の復活と、能登半島地震からの復興を全国にアピールするため、能登の4市5町が一体となった松の植林キャンペーンが実施された。七尾市は和倉温泉の湯っ足りパークで植林が行われ、和倉保育園の園児のほか和倉温泉観光協会、のと共栄信用金庫の職員など約50人が参加した。当日は、あいにく風が強く寒い日となったが、寒さをこらえながら大人がスコップで土を入れ、園児が手で土をたたいてクロマツを植えていた。植林後は、能登鍋が振る舞われ、参加者は温かい汁をすすりながら寒さを和らげていた。早く大きなクロマツになって、防風林になることを願う。



【3月21日（日）；湯っ足りパーク】

## 女性消防団員が自ら企画

防災教室（中島保育園）



【3月17日（水）；中島保育園】

七尾鹿島広域圏事務組合の女性消防団が自ら企画した防災教室が3月17日（水）中島保育園で行われた。今回は、7人の女性消防団員が寸劇や紙芝居などを通して、園児に防災について分かりやすく説明していた。園児たちもアニメを使った紙芝居や着ぐるみの登場などに楽しんで話を聞いていた。今回の企画は、女性消防として初めての活動で「今後も要請があれば出向きたい。女性消防団の認知度がまだ低いこともあるので、普及活動の意味も込めて積極的に活動していきたい。」と意欲をみせていた。現在の女性消防団員は9人と少ないが、今後より多くの女性団員が増えることを期待したい。

## スポーツを通して七尾の名を全国に！

平成21年度 七尾市スポーツ賞授賞式

平成21年度において高校生以上のスポーツ分野で輝かしい成績を収めた人を表彰する七尾市スポーツ賞授与式が3月21日（日）七尾市役所で行われた。スポーツ賞特別賞に世界シニアバドミントン選手権大会で4位になった原栄一さん、スポーツ賞に高校生の個人11人、スポーツ奨励賞には高校生20人・大人8人・2団体、スポーツ功労賞に七尾市ハンドボール協会副会長の脇坂啓太郎さんの合計41人と2団体がそれぞれ受賞した。授与式の終わりに脇坂さんから「このような賞をいただけることは身に余る光栄。賞は協会全員でいただいたもの」と謝辞が述べられた。



【3月21日（日）；七尾市役所】

## 寺嶋涼菜さん（徳田小学校2年） 文部科学大臣表彰を受賞



【3月18日（木）；七尾市役所】

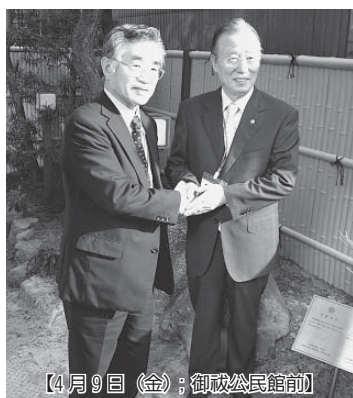
郵便事業株式会社主催の第42回手紙作文コンクールにおいて、寺嶋涼菜さん（徳田小2年※受賞時は1年）が「はがき作文部門」で最も優秀な文部科学大臣賞を受賞した。その結果を受け、七尾市教育委員会は3月18日（木）寺嶋さんに七尾市教育奨励賞を贈った。24,635通の応募作品の中の6作品に選ばれた。作品はおじいちゃんにあてた手紙で、生まれて初めて流れ星を見た内容。流れ星を見て願いことが出来なかったが、次に見たときには、みんな元気で長生きしますようにという心温まる内容に。三浦教育長も、無駄のない素晴らしい作品だとほめられていた。

## 祝！姉妹提携40周年記念！

韓国金泉文化院が御祓公民館へ訪問

七尾市と国際姉妹都市提携を結んでいる韓国金泉市の金泉文化院が姉妹提携40周年を記念すべく御祓公民館に訪れた。七尾市と金泉市が姉妹都市提携に至った契機は、昭和45年に御祓公民館と金泉文化院が姉妹提携を締結し、その5年後に両市が姉妹都市提携を締結した。

姉妹提携40周年の証に記念植樹を終えた金泉文化院ソン・ヨンホ院長は「姉妹提携から40年。これまで先人たちが築いてきた交流をさらに未来志向型の交流へと発展し、堀岡館長をはじめ御祓公民館の皆さまといっしょに歩んでいきたい」と語った。両館の交流をきっかけに、行政、教育、文化、スポーツなど、多種多様な交流へと発展し、両館の交流を手本に新たな交流が生まれることを期待したい。



【4月9日（金）；御祓公民館前】

## 新校舎でも変わらぬ伝統を守り続ける

朝日中学校新 校舎落成式・祝賀会



【3月27日（土）；朝日中学校体育館】

朝日中学校の新校舎が完成したことをうけ、落成式と祝賀会が3月27日（土）同校体育館で行われた。武元市長の式辞や来賓の方々のお祝いのあと、生徒を代表して中田美咲さん（当時3年生）が「新校舎となっても伝統は変わらない。あいさつが出来る、お互いを思いやる気持ちはこれからも受け継がれていきます。親から自分たち、自分たちから次の世代へと。そして、新校舎で新たな歴史を作っていくください。」と感謝の言葉を述べた。

すでに新校舎での授業は2学期より始まっているが、この4月からグラウンドなどを含めた学校施設全体が使えるようになった。

## 御祓中学校男子テニス部が全国2大会で輝かしい成績！（優勝&3位入賞）

輝かしい成績を七尾市教育長に報告

御祓中学校男子テニス部が全国2大会で快挙を成し遂げた。メンバーは、守崎聖大先生をはじめ、主将の島田光規君、寺尾和真君、松本真幸君、柿島慎君、武村崇平君、西田和志君、麻生舜太君、長尾啓汰君の選手8名。

一つは、3月27日に三重県伊勢市で開催された第21回都道府県対抗全日本中学生ソフトテニス大会。個人戦では、島田光規・寺尾和真ペアが準決勝で和歌山県代表のペアに惜しくも敗れたものの、第3位入賞。団体戦では、石川県選抜に選ばれた島田光規・寺尾和真・松本真幸・柿島慎ほか4名（他校）が、優勝した和歌山県選抜に準々決勝で惜しくも敗れ第5位入賞。

二つ目は、3月31日に三重県四日市市で開催された第25回全国ジュニア選抜ソフトテニス研修会。団体戦のみで予選リーグで1位通過。決勝のトーナメント戦では奈良県代表の大宇陀中学校を破り、見事優勝を成し遂げた。

4月12日に、これらの輝かしい成績を三浦光雄教育長に報告した。教育長はソフトテニスの指導者として全国で活躍した経験があり、「全国大会に出場する個々の選手の技量は紙一重。日々の努力がこの輝かしい成績となった」と激励した。

島田光規主将は、「全国大会では貴重な経験ができ、全国レベルで活躍する選手のスピードやボールを打つ音などの違いを感じた。夏までには技術を磨き、対等な勝負ができるようがんばりたい」と抱負を述べた。最近、七尾のスポーツ界は世界や全国で大活躍。七尾の知名度がスポーツを通じ、さらに知られていくことを期待したい。



【4月12日（月）；七尾市役所】